

別添資料7. 第1次デルファイ調査票(クリティカルシンキング認知的技術)

第1次デルファイ調査票
クリティカルシンキング認知的技術

パネル番号（研究者が記入）

評価観点と評価基準案			同意の程度 学生の評価基準（特徴的な言動）として「賛成」「どちらともいえない」「反対」の3つのうち必ずひとつを選んで✓をつけてください。			自由記載欄 (修正案、同意の程度の理由、質問等なんでもご自由にお書きください)
1	Analysing 分析する	Separating or breaking a whole into parts to discover the nature, function, and relationships 本質、機能、相互作用を明らかにするために、全体を部分に分けること	賛成 する	どちらともい えない	賛成 しない	
	1-1	現象を理解するために見聞きしたことを情報として分類できる				
	1-2	表情など非言語的メッセージも分析の対象として提示できる				
	1-3	分析の対象として主観的データと客観的データに整理できる				
	1-4	情報をデータ、意見（要望や訴えも含む）、理由や根拠、推測に識別できる				
	1-5	看護モデル（ゴードンの11パターンなど）に基づき情報を分類できる				
2	Applying standard 基準の適応	Judging according to established personal, professional, or social rules or criteria 個人的な、専門的な、または社会のルールや基準に照らして判断すること	賛成	どちらともい えない	反対	
	2-1	適切な基準(正常値、人間の基本的ニーズ、解剖生理学、疾病過程、正常発達、文化)を知っている				
	2-2	適切な基準を選択できる				
	2-3	看護の知識に基づき基準からの逸脱を認識できる				
3	Discriminating 識別する	Recognizing differences and similarities among things or situations and distinguishing carefully as to category or rank 事柄や状況間の差異や類似点を認識し、カテゴリや順序づけをして、注意深く識別すること	賛成	どちらともい えない	反対	
	3-1	既知（学修、経験）の類似の状況との相違点を示すことができる				
	3-2	情報の解釈と関連づけて状況や事柄を整理、区分（カテゴリ化）できる				
	3-3	問題に関係ある情報と関係ない情報を識別できる				

4	Information seeking 情報の探索	Searching for evidence, facts or knowledge by identifying relevant sources and gathering objective, subjective, historical, and current data from those sources 妥当な資料によって証拠、事実、知識を探究すること、また、客観的、主観的、歴史的な最新のデータを資料から収集すること	賛成	どちらともいえない	反対	
	4-1	看護の知識基盤に基づき焦点を絞った観察や情報収集ができる				
	4-2	信頼できる情報であるかどうかを考えている（情報源が信頼できるか、異なる状態間で一致しているか、確立した手続きに従って集めたデータか、測定は正しいのか）				
	4-3	重要な主観的データは患者や患者の家族とかわかることから収集できる				
	4-4	看護の知識基盤に基づき客観的データを精査できる				
	4-5	見落としているデータの有無を確認できる				
5	Logical reasoning 論理的推論	Drawing inferences or conclusions that are supported in or justified by evidence 証拠によって指示された、あるいは正当だとされた推論や結論を導き出すこと	賛成	どちらともいえない	反対	
	5-1	分析結果を論理的、系統的に関連づけて自分の考えを整理できる				
	5-2	客観的データや主観的データから、看護上の課題を帰納的に見つけ出す				
	5-3	「事実」と推論や解釈の結果である「意見」を区別して、系統的に考えることができる				
	5-4	得られたデータから看護の知識基盤に基づき矛盾のない推論や結論（優先順位づけ含む）を引き出している				
	5-5	看護の知識基盤やデータの分析から隠れた患者のニーズや価値感、事実を推論できる				
	5-6	重要な手がかり（標準との比較、データや症状の変化、差異など）から患者の状況を導くことができる				
	5-7	アセスメントから必要な看護ケアを導ける				
6	Predicting 予測する	Envisioning a plan and its consequences 計画やその結果を予測すること	賛成	どちらともいえない	反対	
	6-1	看護の知識や患者の状況から収集すべき必要な情報を予測できる				
	6-2	看護師の報告や記録から患者の大まかな問題を予測できる				
	6-3	患者の健康問題の解決に必要な計画を実施した場合の結果を予測できる				

7	Transforming knowledge 知識を変換する	Changing or converting the condition nature, form, or function of concepts among contexts 文脈の中で概念の条件、本質、形態や機能などを変える、あるいは他へ転換させること	賛成	どちらともいえない	反対	
	7-1	得られた情報を統合して患者の状態を説明できる				
	7-2	看護理論や概念を用いてケースを記述できる（ケーススタディ）				
	7-3	学修した看護理論、概念、看護技術を実習（看護診断、看護計画立案、看護ケアの提供、省察）で実践できる				